

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成29年12月14日 (2017.12.14)

【公表番号】特表2016-537091(P2016-537091A)

【公表日】平成28年12月1日 (2016.12.1)

【年通号数】公開・登録公報2016-066

【出願番号】特願2016-530865(P2016-530865)

【国際特許分類】

A 6 1 H 31/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 H 31/00

【手続補正書】

【提出日】平成29年11月1日 (2017.11.1)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

心肺圧迫装置において、
回転部を持つモータと、
前記回転部に取り付けられ、前記回転部とともに回転するボールナットと、
ボールねじであって、前記ボールナットにおける回転が前記モータの方向にしたがって
前記ボールねじを進める及び / 又は引っ込めるように前記ボールナットにおいて受けられ
る前記ボールねじと、
前記ボールねじの長手方向の動きが患者に圧迫サイクルを与えるように前記ボールねじ
の末端部に結合されたパッドアセンブリと、
を有する、装置。

【請求項 2】

前記ボールナットが、前記パッドアセンブリに対して前記モータの同じ側にある、請求
項 1 に記載の装置。

【請求項 3】

前記ボールナットが、前記パッドアセンブリに対して前記モータの反対側にある、請求
項 1 に記載の装置。

【請求項 4】

前記ボールねじが、伸縮ボールねじを含む、請求項 1 に記載の装置。

【請求項 5】

前記モータの回転に抵抗するように前記パッドアセンブリに接続された少なくとも 1 つ
の線形ガイドを有する、請求項 1 に記載の装置。

【請求項 6】

前記モータが、直流又は交流モータを含む、請求項 1 に記載の装置。

【請求項 7】

前記圧迫装置の動作を制御し、患者の胸部の上以外に配置されるコントローラを有する
、請求項 1 に記載の装置。

【請求項 8】

心肺圧迫装置において、
回転部を持つモータと、

前記モータに取り付けられ、中を通る少なくとも１つの線形ガイドホールを形成するガイド固定具と、

前記回転部に取り付けられ、前記回転部とともに回転するボールナットと、

ボールねじであって、前記ボールナットの回転が前記モータの方向にしたがって前記ボールねじを進める及び／又は引っ込めるように前記ボールナットにおいて受けられる前記ボールねじと、

前記ボールねじの長手方向の動きが患者に圧迫サイクルを与えるように前記ボールねじの末端部に結合されたパッドアセンブリと、

前記モータの回転に抵抗するように前記パッドアセンブリに接続され、前記ガイド固定具を通る少なくとも１つの線形ガイドと、

を有する、装置。

【請求項 ９】

前記ボールナットが、前記パッドアセンブリに対して前記モータの同じ側にある、請求項 ８に記載の装置。

【請求項 １０】

前記ボールナットが、前記パッドアセンブリに対して前記モータの反対側にある、請求項 ８に記載の装置。

【請求項 １１】

前記ボールねじが、伸縮ボールねじを含む、請求項 ８に記載の装置。

【請求項 １２】

前記モータが、直流又は交流モータを含む、請求項 ８に記載の装置。

【請求項 １３】

前記圧迫装置の動作を制御し、患者の胸部の上以外に配置されるコントローラを有する、請求項 ８に記載の装置。

【請求項 １４】

圧迫装置のパッドアセンブリを作動する方法において、

回転部を持つモータ、前記回転部に取り付けられ、前記回転部とともに回転するボールナット、ボールねじであって、前記ボールナットの回転が前記モータの方向にしたがって前記ボールねじを進める及び／又は引っ込めるように前記ボールナットにおいて受けられる前記ボールねじ、及び前記ボールねじの末端部に結合されたパッドアセンブリを持つ圧迫ユニットを提供するステップと、

前記ボールねじを進める長手方向の動きを提供するように前記モータを作動するステップと、

前記ボールねじを引っ込める長手方向の動きを提供するように前記モータを逆回転するステップと、

を有する方法。

【請求項 １５】

前記ボールナットが、前記パッドアセンブリに対して前記モータの同じ側にある、請求項 １４に記載の方法。